

【北海道厚岸町】



離れたくないまち“あっけし”実現プロジェクト



R8目標総額：1917万円



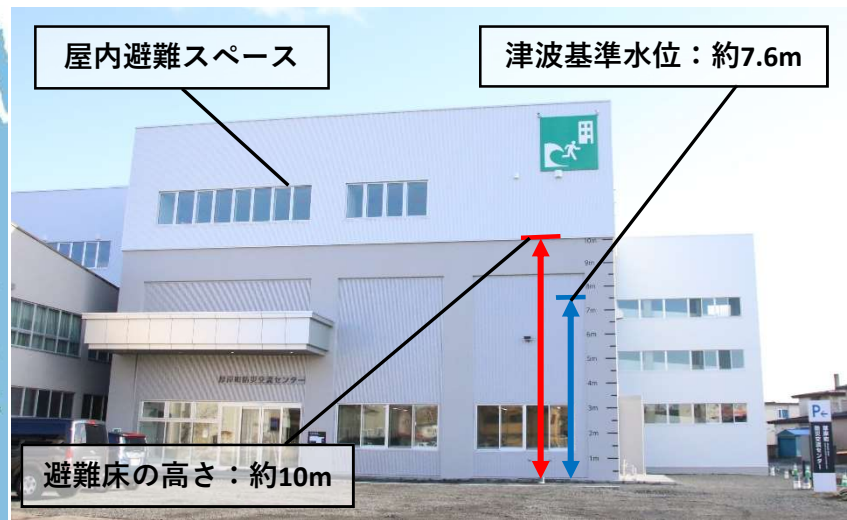
厚岸町は、これまでも1993年釧路沖地震(M7.5)、1994年北海道東方沖地震(M8.2)、2003年十勝沖地震(M8.0)といった大規模地震では、たびたび大きな被害が発生しており、令和3年7月に北海道が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の津波浸水想定では、最大津波高は20.2m、津波浸水区域面積は46.72km²(4,672ha)とされています。また、令和4年7月に北海道が公表した日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定では、津波による死者数は最大で3,600名、死者と重傷者を除いた避難者数は最大3,300名となっています。

そこで町では、町民が緊急的に避難するための施設であるとともに、地域の方々が集い、交流するための施設として、令和7年11月に「厚岸町防災交流センター」を整備しましたが、今後も施設周辺の舗装等の整備や、施設管理に関する運営費用が必要です。町民の安全で安心な暮らしはもとより、地方創生の実現を図る本事業を是非ご支援ください!!



津波から命を守る避難施設の整備・運営が必要です!!

厚岸町防災交流センター整備事業等(R8)1917万円



～私たちから企業様へのお願い～

避難困難地域に住み続ける私たちの命と暮らしを守ってください!!



まちの様子は公式YouTubeをご覧ください!! ↑

生まれ育ったふるさとに住み続けることは地方創生の推進に大きく寄与する重要な施策の一つです。ブランドカキ「カキえもん」「弁天かき」や「厚岸ウイスキー」などの特産品を全国に送り届け続ける厚岸町を守るため、本事業へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



一同：私たちの安全で安心な暮らしを守ってください!!

～ご寄附をいただいた企業様へのお礼～

新しい施設が完成したあかつきには、完成写真と併せて地区住民から直接、お礼のお手紙を差し上げたと考えております。